

「第20回ITS世界会議 東京2013」の参加報告（概要）

国土交通省 総合政策局
総務課 総合交通体系グループ

1 会議の概要

平成25年10月14日（月）から平成25年10月18日（金）の間、「第20回ITS世界会議 東京2013」が開催されました。今回の世界会議では、10月17日（木）と10月18日（金）が一般公開日となり、一般の方々に対しても、展示会やITSのデモンストレーションが無料で見学・体験することが可能となりました。

私個人としては、三回目のITS世界会議、アジア・太平洋開催では、第17回会議（大韓民国・釜山）について、二回目の参加となりました。

なお、公式集計（※）によれば、会議参加者は20,691人（会議登録者：3,940人を含む）、プレス参加者は476人、参加国・地域は65か国であり、大盛況の中での大会となりました。



※ 第20回ITS世界会議 東京2013 公式ウェブサイトより

<http://www.itsworldcongress.jp/japanese/>

2 取材結果

第20回ITS世界会議では、“Open ITS to the Next”をテーマとして、OpenをキーワードにITSの可能性を拓く4つの言葉（“Open platforms”、“Open connectivity”、“Open opportunities”、“Open collaboration”）が会議のコンセプトの軸とされました。展示会場においては、安全性及び利便性を目的とした運転支援システムの紹介が車両メーカーを中心に行われたのをはじめ、ITS関連技術、商品、システム、サービス等の紹介を通じて、国、地域、団体、企業、研究者等がそれぞれの立場を超えた交流が行われ、幅広い分野・業種からの製品やソリューションを体感することができました。

私自身は、「特別イベント（ITSお役立ちアプリ大集合）」、「ショーケース（デモンストレーション）」、「小型モビリティの走行実験」を特に興味を持って拝見させて頂きました。



図. 特別イベント



図. ポスターセッション
(長崎県立大学)



図. ショーケース
(デモンストレーション)



図. 小型モビリティ走行実験